

特別清掃チーム



松木進三郎

略して「特掃
チーム」と言い

ます。2014年から活動を開始して丸8年たちました。

現在のチームは常時参加できる会員が7名、応援や臨時の会員が5名の計12名で、チームワークがいいのが自慢のメンバーです。作業の内容は機械を使つての床清掃で、手順を説明しましょう。

例えばシルバーセンターの2Fの会議室の清掃です。

①会議室内の机、椅子、ホワイボード等、すべての備品を廊下や別室に運び出し、室内は空っぽにします。

②床清掃用のポリッシャーという機械で洗剤を撒きながらパッドを廻して床の汚れを落

とします。(古いワックスも剥がれていきます。)

③洗剤を撒いてあるので床は濡れているので、スクリーザという道具で水分やゴミを集めてバケツに入れていきます。(スクリーザは通常は「カッパ」と呼ばれ、窓拭き用のゴムのついているものの大型のものです。)

④その後、モップで床を拭き上げます。モップは必ず2本を使い1番モップで縦方向に拭いた場合、2番モップは横方向に拭いて拭きモレを防ぎます。

⑤清掃用の大型扇風機で床に風を送り乾かします。

⑥乾いたらワックス用モップでワックスを塗ります。

ワックスも最初に縦方向に塗った場合、今度は横方向に塗ります。

⑦再び扇風機で風を送りワックスを完全に乾かします。乾く前に歩かれると足跡がついてしまい、やり直しになるのでカラーコーン等で通行止めにするのは、そのためです。

⑧ワックスが乾いたら外に出した机、椅子などを元に戻します。同じ位置に戻すことが鉄則です。そのため事前に間取り図を描いたり携帯で写真を撮ったりもします。これで作業は完了です。

通常はポリッシャー・カッパ・モップ・ワックスを担当する4名1組でこの作業を行っています。

就業現場は老人施設、公共施設(公会堂等)が多いですが、時々民間の施設からも依頼がきます。以前、学生寮で作業をした時、休憩時間に学生さんが来られて「廊下がきれいになって、ありがとうございます」と

言われました。また民間の薬局の作業では女性店員さんが作業を見ていてピカピカになった床に驚いて、床の写真を撮って仲間に画像を送っていたこともありました。お客さんに喜ばれると我々もやりがいを感じます。一緒にやってみたいと思われる方は事務局に連絡を……。

